

高畠高生の活躍

7月27日(金)に2年次「公共」の授業で、東北税理士会米沢支部の竹田まり子先生による「租税教室」が行われ、その記事が掲載されました。

記事には、太田文哉君のコメントが紹介されています。

税金の種類や使われ方学ぼう

高畠高の2年生 租税教室が27日、高畠高(吉田晴美校長)で開かれ、2年生約45人が税制度について理解を深めた。

東北税理士会米沢支部の竹田まり子租税教育部幹事が講師を務めた。税金は全部で約50種類あることや、取められた税金は教育や医療、福祉などの公共サービス

スの提供に使われることを紹介した。税金が公平に集められているか、有効に使われているか、それぞれ関心の目を向けることが重要だとし、「社会の一員として、税金の行方を見守り、納税の義務を果たしてほしい」と語った。

太田文哉さん(16)は「税金は自分にとって身近なものだと気付くきっかけになった」と話していた。

(菊地健介)

税金について理解を深めた租税教室
— 高畠町・高畠高



令和5年7月30日(日)「山形新聞」から